

よりた寺通正

令和六年お盆号

お盆とは

お盆とは正式には盂蘭盆会（ウラボンエ）といわれています。

釈迦の高弟であつて神通力第一といわれた目犍連^{もっけんれん}という人が、神通力で亡き母の行方をさがしたところ、餓鬼道におちて苦しんでいる姿を見つけました。釈迦にその救済を尋ねたところ、ある期間（これがいまのお盆。本来は旧七月十三日〜六日）に読経して供養をすれば、その苦しみから脱けることができると教わりました。

この故事から、中国・日本で輪廻した先祖の救済の行事が始まりました。それに日本古来の神道の祖先の里帰りの信仰がまじわって、いまのお盆の考え方になってきました。この期間、ご先祖の魂に心に向けて、なつかしの家にお迎えして、いま生きているが如くのおもてなしをして、先祖あつての現在の我々と省みてすごしてみましよう。

地蔵菩薩



表面に「輪廻」と書きました。輪廻とは具体的には下から地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の六世界をいいます

おののたかむら

正通寺の仏 紹介

これを六道とよびます。小野篁の伝説の六道珍皇寺は有名です。人は一生を終え、その人生においてなした業によって次の生まれ変わりが決まります。この六道は程度の差こそあれ、いずれも生老病死の苦の世界です。この六道にあつて我々を苦の世界から脱出させようと導き、教えてくれるのが地蔵菩薩です。お盆にはぴったりの仏様です。大師堂の一番東に祭っています